

2019 | 春 |

あんず

K y o r i n M a g a z i n e A n z u

vol.1



「杏林大学」の名は、中国に伝わる一つの故事に由来しています。

その昔、中国は廬山というところに董奉（とうほう）という医師がいました。彼は人に尽くすために治療を行ってあえて治療代を受け取らず、その代わりに病気が治った人には、記念として杏の苗を植えてもらいました。

そうして、いつしか 10 万余株の杏の木がうっそうと茂る大きな林ができあがったといわれています。

この故事から後世、良医のことを杏林と呼ぶようになりました。この故事に因んで名付けた杏林大学は、専門的知識や技術にすぐれているだけでなく、立派な人格を持った良き医師など社会に貢献することのできる良き職業人を育成することを目指しています。



あんず

2019 春 | vol.1 |

Contents

- 04 …… 杏林大学年間行事・学生活動
- 06 …… 2019年卒業式・入学式
- 07 …… 2019年度 ご挨拶
- 08 …… 2019年度 事業計画
- 09 …… 2019年度 学園予算
- 10 …… 人事情報
- 11 …… 学生情報
- 12 …… 学部情報
 - 医学部
 - 保健学部
 - 総合政策学部
 - 外国語学部
- 16 …… 留学・国際交流
- 17 …… 杏林大学医学部付属病院
- 18 …… 国際協力研究科 新課程へ改組
- 18 …… 新体育館建設
- 19 …… 地域貢献活動・2019年度 杏林大学公開講演会

キャンパスカレンダー 2018.4-2019.3



優秀学生表彰

優秀学生（成績優秀学生と特別表彰学生）として、4学部の学生53名を表彰



杏園祭

井の頭キャンパスで開催した学園祭は、1.1万人以上の来場者で賑わった

2019年度予定
10/12.13



院内キャンドルサービス

医学部付属看護専門学校の学生約110名が賛美歌を歌いながら病棟を回った

医学部白衣式

新年度から病院での臨床実習に臨む4年生123名の白衣式が行われた



3年生対象の就職対策講座

井の頭キャンパスで保健学部・総合政策学部・外国語学部が開催



春の国際交流の集い

井の頭キャンパスで開催。留学生とテキサスA&M大学インターンシップ生、計26名を含め、学生や教職員、約160名が参加。12月に開催された秋の集いでは、約110名が参加



リーダーズキャンプ

公認クラブ同好会の次期幹部候補生約70名が合宿でリーダーの心得を学ぶ

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月



新入生歓迎会

井の頭キャンパスで保健学部・総合政策学部・外国語学部がそれぞれ開催



三鷹キャンパスで実る杏

付属病院では、入院食に手作りの杏ゼリーを振舞うことも



医学部 オープンキャンパス

7月と8月に計2回、三鷹キャンパスで実施



平成30年9月卒業式

9月13日、三鷹キャンパスで挙行。学部生、大学院生計24名が卒業



平成30年9月入学式

9月15日、井の頭キャンパスで挙行。留学生9名を含む18名の学部生、大学院生が入学



井の頭キャンパス ライトアップ



一般入学試験

2月から3月にかけて4学部の一般入学試験が行われた



井の頭キャンパス キッチンカー



学生広報スタッフ



第43回 戴帽式

医学部付属看護専門学校の2年生93名が、看護の道への決意を新たに



産学連携キャリア支援交換会

学生の就職支援として、企業の方とキャリアサポートセンターをはじめとする本学教職員が意見交換をする会を新宿の京王プラザホテルで開催

2019.3
卒業式

2019年3月の卒業式が、3月17日(日)三鷹キャンパスの松田記念館で行われ、1,150名の学生が学び舎を後にしました。



読売新聞グループ本社取締役最高顧問 主筆代理 老川 祥一氏
祝辞より

卒業おめでとうございます。皆さんは平成の時代が終わった後、新しい時代の社会人第一号です。志を抱き、自らの努力が新しい社会の活力となっていく自覚と責任を持って歩んでください。

そして、これから出会う人との縁を大切にしてください。さらに自らを高めていくために本を読むことを薦めます。

「善く、かつ高貴に生きる人々は、それだけで不幸に耐えうる」とは、ベートーヴェンの生涯を記した本にある彼自身の言葉です。杏林学園の建学の精神「真善美の探究」はまさにこのことです。この学園で学んだことを誇りに自らの道を切り開いて行ってください。

2019.4
入学式

2019年4月の入学式が、4月7日(日)三鷹キャンパスの松田記念館で行われ、1,387名の新入生が入学しました。



ジャーナリスト・東京工業大学特命教授 池上 彰氏
記念講演より

入学おめでとうございます。新入生の皆さんに伝えたいことがあります。それは、学問の世界では、まずは全てを疑う姿勢が大切だということです。大学生になったら積極的に、自ら考えてみてください。また、AIが進化する社会においても、人間にしかできないこともあります。患者さんと対面し、診察を行う医療の現場もそうですし、AIの自動翻訳も万全ではありません。

言葉は人間が使うものです。そこには人間の心理や文化、歴史などの背景があります。外国語を学び、国際的視野を身につけようとする皆さんは、ぜひ自国や相手の文化、歴史など、幅広い教養を身につけ、洞察力を磨くことを心がけてください。

2019年度

ご挨拶



学園長・理事長
松田 博青
Hiroharu Matsuda

今年の春も1,387人の新しい学生たちを迎えました。杏林学園は2016年の創立50周年のあとも、さまざまな周年の時期を迎えています。今年には保健学部が設立40周年、来年は医学部が50周年の節目を迎えます。卒業生も累積しますと3万8,000人に及ぶようになりました。これも、ひとえに長きにわたって御尽力を頂いた関係者の皆様、保護者と卒業生の皆様、そして教職員のお陰であり、改めて厚く御礼を申し上げます。

大学運営を取り巻く社会環境は厳しさを増しています。またAI・人工知能の急速な進歩に代表される時代の大きなうねりのなかで、変わり行く社会に柔軟に対応し、社会の役に立つ人材の養成を進めていくことが学園の変わらぬ使命です。

学園がこうした使命を果たし、これからも継続的に発展していくためには、引き続き多くの皆様のご理解、ご支援が欠かせません。そのためにも、大学の現状やめざすべき方向性をご報告していくことが私どもの義務であると考えます。

公式ホームページ等に加えて、今回からこうしたさまざまな学内の情報をまとめ、小冊子として年2回お届けすることになりました。皆様方と学園との絆を一層ゆるぎないものとする一助となることを願っています。



副理事長
松田 剛明
Takeaki Matsuda

この春も多くのフレッシュな学生たちをキャンパスに迎え、新年度がスタートしました。

今年の受験生総数は1万7,000人を超えました。過去最高の数です。医師国家試験の合格率(新卒)は2年連続で97%を超え、私立大学29校中5位、全国80校中10位となりました。保健学部の各国家試験でも高い合格率を継続しています。総合政策学部と外国語学部の就職率も99%台に達しました。

しかし、大学運営をめぐる環境は厳しさを増しており、手を緩めることは許されません。文系2学部では、それぞれの特性を活かし、さらなるグローバル化や情報教育についてのカリキュラムの構築が重要です。

医学部では、実践的な英語力の向上を図り、海外での研修や臨床クラークシップなどとあわせ、他大学にない環境を整えていきます。

三鷹キャンパスについても、次の半世紀を見据えた将来構想を描いていきます。その手始めとして、付属病院北側の新校地に新しい体育館を建設する計画です。

先人が積み重ねてきた歴史を礎に、次の飛躍を図ってまいりますので、皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。



学長
大瀧 純一
Junichi Otaki

平成の時代が終わり、新しい令和の時代がスタートしました。

大学は、大きく変化する時代の流れに柔軟かつ迅速に適応していくことが求められています。

本学は三鷹・井の頭キャンパスに集約されたこともあり、これに対応する環境が十分に整備されています。学生も一人ひとりがそれを意識し、先生や学友と共に、将来の自分のために切磋琢磨し、結果を求めるようになってきています。

発展をさらに加速するには、大学も自らの立ち位置を明確にする必要があります。医療系から歴史を刻んできた本学では、「人の健康を守る」を一つの共通目標としてきました。総合大学として今年度からは4学部共通の目標として「社会の健康を守る大学」を掲げることにいたします。社会人として必要な課題発見能力や探求能力を備え、倫理感を持って人々のために尽くせる人材の養成。まさに建学の精神の「真・善・美の探究」を一層推進してまいります。

2019年度 事業計画

学園事務局

杏林学園は創立50周年を2016年に迎えた後、2018年には総合政策学部から第30期生を輩出し、また同年、外国語学部では設立30周年を迎えました。

社会環境が激しく変化していく中で、学園は社会が求める人材を養成するという基本方針を堅持しつつ、具体的な養成方法を社会の変化に合わせていく努力を続けて参ります。

医学部は、国際認証の取得を目指し、2018年度に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審しました。今期においては、国際的な基準に照らした教育内容、医学教育体制の改善整備を進めます。また、実践的な英語能力の向上に取り組んで参ります。

保健学部は、新カリキュラム移行後の科目につき、学年進行と共に理解の深まる体系的編成がなされ、講義・演習、実習が適切に組み合わせられているか、カリキュラムの評価検討を致します。また、学生が高い倫理観、社会的責任の遂行力、国際的視野を身につけられるように臨床現場との連携を密に図り、学生の育成に取り組めます。

総合政策学部は、グローバル・キャリア・プログラム導入後の教育効果に関し全面的なレビューを行い、今後のグローバル化教育の在り方の検討を行い、組織やカリキュラムの見直しと平仄のとれた形で教育内容を見直します。

外国語学部は、教学マネジメントを強化し、3つのポリシーを起点とした点検・評価・改善のPDCAサイクルを有効に機能させ、内部質保証を推進します。また、2019年度に完成年度を迎える現行カリキュラムの成果測

定を実施し、その結果をもとに点検・整備を行い、カリキュラム・マネジメントを確立します。

2021年度に予定される入学者選抜改革については、各学部とも改革内容を見据えた入試を実施できるよう準備、検討を進めます。

三鷹キャンパスに隣接する新校地には、新たな教育・研究の施設(体育館・医学部棟)の建設を計画しており、今期は既存建物(旧国家公務員宿舎)の解体工事を経て、体育館の建設工事に着手します。

学生の入学志願者数は毎年順調に推移し、2018年度末の志願者は過去最多の1万7,000余名の規模となりました。今期も戦略的な広報活動を展開し、オープンキャンパス・進路相談会等の充実を図りながら学生募集に取り組めます。

医学部付属病院は、東京西部三多摩地区における中核的医療センターとして地域に根差した特定機能病院としての役割を推進するために、診療内容の質向上と将来への投資をはじめ、医療連携の促進及び医師勤務環境の改善、病院組織の適正運営と職員教育・研修の充実等に取り組んで参ります。

医学部付属看護専門学校は、閉校に向けての円滑な移管への準備を進めつつ、在校生に対しては更なる教育の充実を図り、学生の主体性・社会力を育成して参ります。

これらの事業計画を着実に遂行することで、学園の全学的なブランドイメージの具現化を目指して参ります。そして事業運営を着実に進めるため、安定した資金調達とバランスの取れた経営状態の確立に努力して参ります。

事業計画の詳細は、大学ホームページ「経営・財務情報」に掲載しています。

2019年度 予算について

資金収支予算の概要

総資金収入は609.31億円、総資金支出は602.79億円の規模。2018年度(決算見込)の繰越金は65.71億円。また、2019年度予算の繰越金は、68.29億円となり、繰越金が2.58億円の増加となる予算となりました。

< 資金収支 >

科 目	2019年度予算	2018年度予算
学生生徒等納付金収入	110.84	107.59
手数料収入	5.83	5.73
寄付金収入	4.60	3.93
補助金収入	20.96	22.20
資産売却収入	0.00	0.00
付随事業・収益事業収入	5.38	6.16
医療収入	369.28	356.92
受取利息・配当金収入	0.10	0.10
雑収入	4.46	4.74
借入金等収入	0.00	20.00
前受金収入	17.72	17.95
その他の収入	70.11	70.71
小 計	609.31	616.08
資金収入調整勘定	△ 74.67	△ 74.82
前年度繰越支払資金	65.71	41.90
収入の部合計	600.34	583.16

科 目	2019年度予算	2018年度予算
人件費支出	223.25	220.50
教育研究経費支出	31.08	30.33
医療経費支出	176.39	171.99
管理経費支出	27.46	26.98
借入金等利息支出	1.77	1.86
借入金等返済支出	9.94	32.16
施設関係支出	25.85	11.97
設備関係支出	43.35	9.30
資産運用支出	21.79	16.94
その他の支出	40.88	47.18
予備費	1.00	1.00
小 計	602.79	570.25
資金支出調整勘定	△ 70.74	△ 41.77
翌年度繰越支払資金	68.29	54.67
支出の部合計	600.34	583.16

事業活動収支予算の概要

事業活動収入計は521.76億円、事業活動支出計は513.40億円。その結果、基本金組入前当年度収支差額は8.36億円の収入超過予算となりました。

2018年度(決算見込)の前年度繰越収支差額は△845.96億円、2019年度(予算)の当年度収支差額は△15.01億円となり翌年度繰越収支差額は△856.01億円の予算となりました。

< 事業活動収支 >

		科 目	2019年度予算	2018年度予算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	110.84	107.59
		手数料	5.83	5.73
		寄付金	3.63	3.99
		経常費等補助金	18.06	18.81
		付随事業収入	5.38	6.16
		医療収入	369.28	356.92
		雑収入	4.46	4.69
	ア) 教育活動収入計	517.50	503.92	
	事業活動支出の部	人件費	226.19	224.29
		教育研究経費	47.08	46.81
医療経費		201.88	200.15	
管理経費		32.72	31.56	
	徴収不能額等	0.01	0.01	
	イ) 教育活動支出計	507.88	502.84	
A) 教育活動収支差額			9.62	1.08
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	0.10	0.10
		その他の教育活動外収入	0.00	0.00
	ウ) 教育活動外収入計	0.10	0.10	
	事業活動支出の部	借入金等利息	1.77	1.86
		その他の教育活動外支出	0.00	0.00
	エ) 教育活動外支出計	1.77	1.86	
B) 教育活動外収支差額			△ 1.66	△ 1.76
経常収支差額 (A+B)			7.95	△ 0.67
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0.00	0.00
		その他の特別収入	4.15	3.68
		オ) 特別収入計	4.15	3.68
	事業活動支出の部	資産処分差額	2.74	1.58
		その他の特別支出	0.00	0.00
	カ) 特別支出計	2.74	1.58	
C) 特別収支差額			1.41	2.09
[予備費] (D)			1.00	1.00
基本金組入前当年度収支差額 (A+B+C+D)			8.36	0.41
基本金組入額			△ 23.37	△ 27.44
当年度収支差額			△ 15.01	△ 27.02
前年度繰越収支差額			△ 845.96	△ 857.83
基本金取崩額			4.96	0.00
翌年度繰越収支差額			△ 856.01	△ 884.86
事業活動収入計 (ア+ウ+オ)			521.76	507.71
事業活動支出計 (イ+エ+カ+予備費)			513.40	507.29
事業活動収支差額 (A+B+C+D)			8.36	0.41

※百万円未満を切り捨て、合計においては差異を生じる場合がある。

予算、決算の詳細は、大学ホームページ「経営・財務情報」に掲載しています。

人事情報

2019年度 杏林学園役員

役職	氏名	現職
理事長	松田 博青	学園長・大学名誉教授
副理事長	松田 剛明	大学教授（医学部）・企画運営室長
理事	大瀧 純一	大学長
理事	渡邊 卓	大学医学部長・医学研究科長
理事	神谷 茂	大学保健学部長・保健学研究科長
理事	大川 昌利	大学総合政策学部長・国際協力研究科長
理事	坂本 ロビン	大学外国語学部長
理事	市村 正一	大学教授（付属病院院長）
理事	田口 晴彦	大学教授（保健学部教務部長）
理事	伊藤 敦司	大学教授（総合政策学部教務部長）
理事	黒田 有子	大学教授（外国語学部学生部長・学生支援センター長）
理事	小塩 節	フェリス女学院特別顧問・中央大学名誉教授
理事	鈴木 武夫	鶴岡学園理事長・北海道文教大学学長
理事	甲能 直幸	立正佼成会附属佼成病院院長
理事	鈴木 典比古	公立大学法人国際教養大学理事長・学長

役職	氏名	現職
監事	則定 衛	弁護士・元東京高等検察庁検事長・元法務事務次官
監事	石井 道遠	㈱東日本銀行特別顧問、元国税庁長官

2019年度 就任教授

学部	学科	氏名	職位
医学部	臨床検査医学	大西 宏明	教授
医学部	内科学Ⅲ (糖尿病・内分泌・代謝内科)	安田 和基	教授
医学部	放射線腫瘍学	戸成 綾子	臨床教授
医学部	心臓血管外科	細井 温	臨床教授
医学部	皮膚科学	水川 良子	臨床教授
保健学部	救急救命学科	松岡 弘芳	教授
保健学部	看護学科 看護学専攻	坂井 志麻	教授

特任教授（任期2019年4月1日～2020年3月31日）

学部	氏名	学部	氏名
医学部	有村 義宏	保健学部	荒添 美紀
医学部	河合 伸	保健学部	小林 邦典
医学部	甲能 直幸	保健学部	副島 昭典
医学部	小谷 明弘	保健学部	千田 晋治
医学部	高橋 信一	保健学部	中島 哲
医学部	遠山 満	保健学部	西山 正恵
医学部	齋藤 英昭	保健学部	張替 克美
医学部	波利井 清紀	外国語学部	神保 真一
医学部	東原 英二	外国語学部	古市 友子
医学部	松村 讓兒	本 部	金田一 秀穂
医学部	宮 敏路	キャリアサポートセンター	平石 富男
医学部	吉野 秀朗	IR推進室	中島 延淑
医学部	山本 実	国際交流センター	ポールスノードン
医学部	柳田 修		

2019年度 大学役職者

役職	氏名	役職	氏名
学長	大瀧 純一	教務部長（医）	平形 明人
学部長（医学部）	渡邊 卓	教務部長（保）	田口 晴彦
学部長（保健学部）	神谷 茂	教務部長（総）	伊藤 敦司
学部長（総合政策学部）	大川 昌利	教務部長（外）	赤井 孝雄
学部長（外国語学部）	坂本 ロビン	学生部長（医）	櫻井 裕之
医学研究科長	渡邊 卓	学生部長（保）	望月 秀樹
保健学研究科長	神谷 茂	学生部長（総）	内藤 高雄
国際協力研究科長	大川 昌利	学生部長（外）	黒田 有子
医学部付属病院院長	市村 正一	医学研究科教務担当	大木 紫
医学部付属看護専門学校長	岡島 康友	保健学研究科教務担当	八並 光信
附属図書館長	赤木 美智男	国際協力研究科教務担当 (国際開発専攻、開発問題専攻)	西 孝
医学分館長	赤木 美智男	国際協力研究科教務担当 (国際医療協力専攻)	北島 勉
井の頭分館長	知原 信良	国際協力研究科教務担当 (グローバル・コミュニケーション専攻、国際文化交流専攻)	荒川 みどり
キャリアサポートセンター長	平石 富男	国際協力研究科教務担当 (国際言語コミュニケーション専攻)	宮首 弘子
国際交流センター長	ポールスノードン	地域交流推進室長	古本 泰之
入学センター長	岡田 洋二	高大接続推進室長	稲垣 大輔
学生支援センター長	黒田 有子		
研究推進センター長	大木 紫		
井の頭保健センター長	四倉 正之		
三鷹保健センター長	岡本 晋		

2019年度 名誉教授

氏名	学部
岩下 光利 名誉教授	医学部 産科婦人科学教室
高坂 宏一 名誉教授	総合政策学部

2018年度 退任教授

学部教室	氏名
医学部 内科学Ⅲ（糖尿病・内分泌・代謝内科）	石田 均
医学部 総合医療学教室	河合 伸
医学部 解剖学（顕微解剖学）教室	川上 速人
医学部 解剖学（肉眼解剖学）教室	松村 讓兒
保健学部 臨床検査技術学科	石井 和夫
保健学部 臨床検査技術学科	加藤 英世
外国語学部	金田一 秀穂

2018年度 杏林学園職員表彰

杏林学園では、目標達成に向け優れた取組みを行い、学園に大いに貢献した職員を表彰しています。

2018年度【若手奨励賞】	表彰対象実施事項
杏林大学井の頭事務部 教務課 内藤 洋子	・非常勤講師への支援体制の見直し ・シラバス作成業務の効率化

2018年度【個人表彰】	表彰対象実施事項
杏林大学医学部付属病院 放射線部 山村 恒、安達 卓哉	超高精細CT装置の研究と臨床応用

学生情報 2019年4月 現在

在学生数

	学部	定員	学生数
学部	医学部	702	716
	保健学部	2,459	2,600
	総合政策学部	872	976
	外国語学部	994	1,052
学部合計		5,027	5,344
大学院	研究科		計
	医学研究科	136	66
	保健学研究科	46	34
大学院合計		292	150
看護専門学校		100	92
総計		5,419	5,586

2018年度 学位授与者数

	学部	2018年度卒業学位授与者数	累計学位授与数
学部	医学部	111	4,226
	保健学部	519	8,617
	総合政策学部	203	10,052
	外国語学部	189	8,717
学部合計		1,022	31,612
大学院	研究科		累計学位授与数
	医学研究科	14	1,069
	保健学研究科	13	387
大学院合計		49	2,543
看護専門学校		103	3,896
総計		1,174	38,051

看護専門学校 看護師国家試験 2018年度結果

合格率（新卒者）	全国平均
97.1%	94.7%

過去5年間 入学試験 志願者数推移

学部	学科	専攻	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	
医学部	医学科		4,853	4,263	4,149	3,975	4,264	
		臨床検査技術学科	1,117	1,129	1,385	1,197	1,032	
		健康福祉学科	213	200	172	276	198	
		看護学科	看護学専攻	2,063	1,946	2,163	2,007	1,687
			看護養護教育学専攻	527	516	662	601	408
		保健学部	臨床工学科	487	519	595	534	466
			救急救命学科	266	378	312	310	263
			理学療法学科	1,024	1,017	1,209	1,163	1,063
			作業療法学科	367	352	328	411	428
			診療放射線技術学科	933	901	1,126	1,021	788
臨床心理学科	271		138	—	—	—		
学部合計		7,268	7,096	7,952	7,520	6,333		
総合政策学部	総合政策学科	1,272	903	774	743	414		
	企業経営学科	965	653	366	406	204		
	学部合計	2,237	1,556	1,140	1,149	618		
外国語学部	英語学科	1,277	925	809	646	427		
	中国語学科	513	310	277	109	59		
	観光交流文化学科	1,033	774	714	436	351		
	学部合計	2,823	2,009	1,800	1,191	837		
総計			17,181	14,924	15,041	13,835	12,052	

2019年度入学者数

	学部	学生数
学部	医学部	117
	保健学部	707
	総合政策学部	260
	外国語学部	269
学部合計		1,353
大学院	研究科	
	医学研究科	10
	保健学研究科	16
大学院合計		34
総計		1,387

医学部 医師国家試験 2018年度結果

	合格率	全国平均
新卒者	97.3%	92.4%
既卒者含む	95.7%	89.0%

保健学部 国家試験 2018年度結果

国家試験	合格率（新卒者）	全国平均
臨床検査技師	95.2%	86.5%
社会福祉士	64.4%	29.9%
看護師	99.2%	94.7%
保健師	100%	88.1%
助産師	100%	99.9%
臨床工学技士	100%	77.5%*
救急救命士	97.6%	91.9%*
理学療法士	97.9%	92.8%
作業療法士	91.7%	80.0%
診療放射線技師	88.0%	89.4%

*既卒者を含めた全国平均

医学部



医学部長
大学院医学研究科長
渡邊 卓
Takashi Watanabe

医学教育プログラムの更なる充実を目指して

当医学部では2016年度入学生より国際基準に準拠した新たな医学教育カリキュラムを導入、このカリキュラムに基づき、昨年10月には日本医学教育評価機構による医学教育に関する分野別評価を受審致しました。受審に先立つ自己点検ならびに受審の過程で得られた様々な情報を詳細に検討し、今年度以降、教育体制の整備充実に役立てて参りたいと考えております。

この新カリキュラムでは、臨床実習の期間が大幅に増えるとともに、臨床参加型実習の強化などが予定されておりますが、今年度後半からの実習の開始に向けて、具体的なプログラムの作成を早急に完了させる必要があります。

これまで積極的に取り組んできた海外でのクリニカルクラークシップや英国レスター大学における英語セミナー等、意欲のある学生にグローバルな視点を身につけさせるための機会についても、更なる充実に努めます。これに関連して、より実践的な英語を学ぶために、外国語学部の坂本学部長をはじめとする英語学科教授陣の協力を得て、「実践英語」を第1、第2学年に新たに開講することと致しました。

また、基礎医学や臨床医学の現場に触れる機会を意欲のある学生のために提供するための「教室活動への自由参加プログラム」についても、より充実させて参ります。

以上のような様々な取り組みを通じて、今年度もまた、杏林大学医学部の教育プログラムの更なる充実を図って参ります。

Award

杏林医学会

杏林医学会は、医療分野の進歩を目指し、会員の交流を目的とする組織。本学の教員ならびに学生、当会の主旨に賛同する医学部付属病院の医師等が会員です。杏林医学会では、研究発表などで成果を取った学生を表彰しています。

学生受賞2018



根本展希さん [一般口演で優秀賞]

4年生の根本さんが一般口演で優秀賞を受賞しました。一般口演32件のうち、根本さんは学生として唯一の参加者でしたが、第三内科学教室(消化器内科)久松理一教授等の指導を受け、「潰瘍性大腸炎における粘膜評価について罹患範囲を考慮した便中バイオマーカーの有用性」という演題で臨床研究を発表しました。



齋藤みずほさん [第8回リサーチ賞を受賞]

学生の研究活動を奨励するリサーチ賞は、6年生の齋藤みずほさんが受賞しました。齋藤さんは、第115回日本内科学会総会で行ったポスター発表「多彩な合併症を呈した腸管出血性大腸菌感染症の一例」が評価されました。

Q ニュース

2018年度 医学部国家試験合格率97.3%

新卒者の合格率は、全国80校中、10位。
私立大学では29校中、5位でした。
既卒者を含めると、全国8位、私立大学で5位となりました。
(詳細な人数は、11ページ参照)
【2017年度結果】新卒者：全国で6位、私立大学で5位

Q ニュース

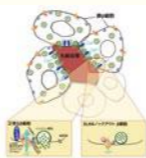
医学部生化学教室(今泉美佳教授)の研究グループ

インスリン分泌の仕組みで新たな発見 糖尿病治療の新薬開発に期待も

医学部生化学教室の今泉美佳教授の研究グループは、山梨大学医学部生化学講座の大塚稔久教授の研究グループ等と共同で、膵臓から分泌され、血糖値の調整機能を持つインスリンが効率よく血管に分泌される仕組みを初めて発見しました。

この研究の成果により、糖尿病の病態の解明だけでなく、「ELKS」の機能を活用した新しい糖尿病治療薬の開発につながる事が期待されます。

本研究成果は、2019年1月に米国の学術誌「Cell Reports」に掲載されました。

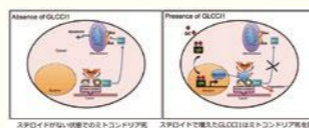


Q ニュース

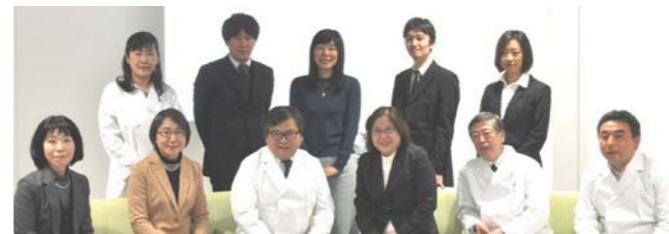
小児科学教室(楊 國昌教授)の研究グループ 「ステロイド抵抗性の仕組み」を発見

白血病などの血液腫瘍、膠原病、アレルギー疾患、腎臓疾患などの難病に対して、最も効果的な治療薬剤であるステロイドは、経過と共に効き目が無効になることが頻繁にあります。研究チームはこのステロイド抵抗性の原因が、リンパ球内のGLCC11(グルココルチコイド)という分子の増加に起因することを発見しました。この成果を基に現在研究チームは、ステロイド抵抗性を改善させる新たな治療薬を開発しています。

本研究は、本学医学部薬理学教室、解剖学教室、臨床検査医学教室、京都大学薬学部、金沢医科大学等と共同で行われ、2019年3月、米国の学術誌「The FASEB Journal」に掲載されました。



臨床心理学科 2018年度 開設



心理職が国家資格「公認心理師」として制定されたことを受けて、保健学部に2018年4月、臨床心理学科を開設しました。

医療領域などで活躍できる心理師の育成を目指し、医療分野等での経験豊富な講師陣や杏林大学医学部付属病院のスタッフが指導します。また、付属病院で心理実習ができることも強みです。2019年度現在、1期生45名、2期生96名が学んでいます。

活動 コメディカルの連携強化を目指して 第1回 理学療法学科・作業療法学科合同研修会を開催

保健学部では、医療現場で欠かせないコメディカルの連携について在学中から学ぶ機会があります。

その一環として、理学療法学科・作業療法学科で、4年生が企画し、両学科生が交流しながら、脳卒中患者への対応を学ぶことを目的とした研修会を2018年12月に実施しました。両学科の1～4年生、計270名が参加し、理学療法士の講義を受講した後、グループ討議と発表が行われました。



活動 救急救命学科の学生が中学校で 一次救命処置を指導

救急救命学科では、本学と連携協定を結んでいる市の中学校等でBLS(一次救命処置)指導を定期的に行っています。

2018年6月には、学科3年生48名が、羽村市内の中学3校、計442名の生徒へ胸骨圧迫心マッサージやAEDの使用手順などの実技指導を行いました。



保健学部



保健学部長
大学院保健学研究科長
神谷 茂
Shigeru Kamiya

専門性と学際性を深める教育を目指して

保健学部は保健学、健康科学、医療科学等の領域のほぼ全てを包括する9学科(看護学科は2専攻)で構成されています。本学部での学修により臨床検査技師、社会福祉士、看護師、保健師、助産師、救急救命士、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、公認心理師(大学院修士課程修了が必要)の国家試験受験資格が得られます。加えて、養護教諭の資格取得も可能です。このように保健学の専門領域を網羅して学ぶことの出来る学部は他に類をみません。

教育内容は複数学科の教員により行われ、学際的な学修が可能となっています。更に学部生の海外研修、海外の大学からの学生受け入れ等が活発に行われ、国際性を身につけていく環境も整いつつあります。受験生からもこのような本学部の強み・特徴は高く評価され、志望学問分野別大学ランキングでも上位にランクされています。専門性と学際性を深めていく教育の実践にさらに、心がけていきたいと存じます。

学園の教職員の皆様ならびに在学生・卒業生の皆様のご指導・ご支援をお願いする次第です。

Award

学生表彰2018



第9回関東臨床工学会
学生部門最優秀演題賞
臨床工学科4年
青木拓史さん

〔演題〕
模擬シャント内血流量測定システムの基礎研究～血管径の影響について



第8回アジア核医学技術学会(韓国)
英語口頭発表
診療放射線技術学科4年
鷹取 亮弘さん

〔演題〕
シミュレーションを用いた
177Lu SPECT イメージング
用コリメータの最適化

お知らせ

保健学部 開設40周年 記念祝賀会のお知らせ

1979年に臨床検査技術学科、保健学科の2学科でスタートした保健学部は、現在9学科2専攻までに発展しました。開設40周年を記念する祝賀会を下記の通り開催いたします。

日程 2019年9月14日(土)
会場 京王プラザホテル(新宿)

詳細は大学ホームページ等でご案内します。



総合政策学部



総合政策学部長
大学院国際協力研究科長
大川 昌利
Masatoshi Okawa

これからの学部教育について

総合政策学部は歴史を重ね、昨年は同窓会の30周年を記念する「卒業生のつどい」が盛大に開催されました。

学部創設以来、総合政策学部では学際教育を重視し、多彩なゼミなどの教育を通じて、多角的に考え、バランスの取れた総合的な判断力を有する人材を社会に送り出してきました。また、国際的な仕事に従事したい学生のために、初年度からの英語の集中的学習に加え、英語による専門科目の履修などを盛り込んだGCP(グローバル・キャリア・プログラム)などの新機軸も打ち出しています。

今年も受験者数は前年を大きく上回り、これまでの取り組みの成果が評価として表れたものと考えています。これも学内外の関係者の皆さまのご支援の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

総合政策学部では、これを弾みに最近の社会環境の変化を教育内容に反映させていくためカリキュラムの見直し作業に着手することとしています。グローバル化への対応が引き続き必要なのは勿論ですが、AI(人工知能)の発達やビッグデータ等の活用による情報化の進展が社会生活に及ぼす大きなインパクトについても、学部教育に如何に盛り込むべきか検討を重ねています。

また、その際には、学部創設以来の学際教育の具体的な在り方についても、必要に応じ大胆に見直す方針であるほか、新たな学部教育の将来像と整合的な入試改革にもつなげていきたいと思っています。新たな時代を切り拓く総合政策学部の今後にぜひご期待ください。

活動 タイで看護師を対象に HIV 感染者ケア研修



北島 勉教授(専門:国際問題、保健学)や医学部附属病院のHIV/AIDSコーディネーターナースらが2018年5月にタイ チェンマイのサンパトン地域病院を訪問し、現地の看護師へHIV感染者ケアに関する研修を実施しました。本研修は、JICAの「北タイの保健センターにおけるHIV感染者ケアの強化事業」の一環として行われました。

社会科学部・総合政策学部 同窓会(杏門会) 30周年「卒業生のつどい」を開催

2018年11月4日(日)、井の頭キャンパスで30周年記念「卒業生のつどい」が開催されました。

卒業生の他、退職した教員や現職の教員、職員が出席し、旧交を温めました。



学生受賞

大学コンソーシアム八王子「学生発表会」で受賞



2018年12月、八王子学園都市センターで「第10回大学コンソーシアム八王子学生発表会」が行われ、コンソーシアムに加盟する大学等の学生が、市の発展への貢献を目的に日頃の研究成果を発表しました。そのうち、総合政策学部の3チームが表彰されました。

- 【奨励賞】「太陽の街・八王子」 木暮ゼミ
- 【口頭発表 優秀賞】「光と絹の道 続・高尾山着せ替え大作戦」木暮ゼミ
- 「中小企業によるCSV実現に向けた八王子独自の仕組みの提案」 久野ゼミ

2018年度 馬田啓一賞

馬田啓一名誉教授の寄付で設立された学生の研究や勉学を奨励するための賞です。

学部生の部では、課題図書の評価を、高校生の部では課題テーマのエッセイで優秀賞が選考されます。

2018年度の授賞式は、2018年12月に行われました。

[学部生の部 優秀賞受賞者]
2年生 奥山優希さん 2年生 尾崎太一さん



受賞

石巻での地域活動がグッドデザイン賞受賞



三浦秀之准教授はゼミ生らとともに、東日本大震災直後から石巻の被災地で地域のコミュニティづくりに取り組んでいます。この活動の一環として、2018年4月に開館した地域の学び舎「耕人館」と「たねもみ広場」が2018年度のグッドデザイン・ベスト100に選ばれました。

創設30周年記念祝賀会を開催



2018年12月9日(日)、帝国ホテルで杏林大学外国語学部創設30周年記念祝賀会が開催されました。

同窓生101名、学園関係者103名、計204名の参加者が思い出話に花を咲かせ、賑やかな祝賀会となりました。

活動



テキサス A&M 大学生が在 student と交流

本学では、日本語・日本文化研修と英語教育インターンシップなどを目的とした、テキサスA&M大学の学生を受け入れています。3回目となった2018年度は、17名が外国語学部生と授業や語学サロンで交流しました。



学生が八王子市へ観光事業の提言

観光交流文化学科 古本泰之准教授のゼミナールは、大学コンソーシアム八王子から2018年度の学生企画事業補助金の採択を受けました。2月には企画事業「八王子市内観光資源を活用したMICE*参加者向けツアー・ユニークベニュー企画の立案」を八王子市学園都市センターで発表しました。

*MICE: インバウンド振興策の一環として、国や自治体が行っている観光政策・活動。

外国語学部



外国語学部長
坂本 ロビン
Robin Sakamoto

専門性と学際性を深める教育を目指して

昨年度は、外国語学部創設30周年記念祝賀会にご協力をいただきありがとうございました。外国語学部は、杏林大学の4学部の中で一番若い学部です。私たちがここまで成長できたのも皆様のご支援とご指導のおかげであると感謝しております。

人は30歳までは仕事や家庭など個人のことに力を注いでいきますが、30歳を過ぎてからは社会に貢献することを考えていかなければなりません。私たち外国語学部も30歳を迎え、社会と社会に貢献する方法に目を向け、ますます国際化が進む日本において言語に精通するだけでなく、様々な観点から物事を見ることができる人材を育成することが重要であると考えています。

外国語学部では、2018年度は55名の学生が3ヶ月から半年間、40名の学生が1年を通して海外へ留学をしました。また2019年春学期は、中国の協定校から14名の学生と、米国テキサスA&M大学から24名を受け入れる予定です。日本人学生、海外からの留学生、留学経験者が行き交うキャンパスは、海外に行かずとも国際的な環境となり、これらの学生はアクティブラーニングを通じ、多様な視点から社会が直面する問題を一緒に考えていきます。このようにして私たちは、日本の将来に大きく貢献できるトライリンガル・グローバルリーダーの育成に努めていく所存です。



留学奨学金 2018年度熊谷奨学生

熊谷文枝名誉教授の寄付により設立された、外国語学部生の海外留学を支援する奨学金制度です。

受賞者: 左) 中国語学科1年生 佐藤莉莉さん
(中国 天津外国語大学留学)

右) 観光交流文化学科1年生 岡林平さん
(オーストラリア サンシャインコースト大学留学)

留学・国際交流

(2018年度実績)

グローバル化が進む中で、杏林大学では、各学部で留学や海外研修の充実に取り組んでいます。2019年4月現在で、協定校は15か国・地域の55大学・機関におよんでいます。2018年度に海外研修・留学に参加した学生の延べ人数は、医学部52名、保健学部74名、総合政策学部32名、外国語学部128名、計286名でした。

医学部

イギリス レスター大学 医学英語セミナー



医療面接、問診の指導、英国医療制度に関する講義、医療施設の見学など全て英語で行われる本学独自のプログラム。1～4年生32名が参加しました。

海外クリニカルクラークシップ(臨床参加型実習)



6年生の5～6月にかけて海外の医療機関で行う実習に19名が参加しました。

保健学部

カナダ バンクーバー研修



ランガラレッジで医学・看護の英語や英会話を学んだり、リハビリテーションセンターなどの医療現場を見学体験します。26名が参加しました。

保健学部

アメリカ 南カリフォルニア大学 研修



作業療法学科の学生14名が、作業療法関連の講義を受けたり、関連施設を見学しました。また、2018年に本学作業療法学科で受け入れた南カリフォルニア大学大学院生達と再会し、交流しました。

総合政策学部

総合政策学部では、欧米やアジアなど世界各国で語学研修や、3ヶ月～約1年間の留学を実施しています。



マレーシア ニライ大学
約3ヶ月間、英語学習をする他、ビジネス関連の授業を英語で受講しました。



カナダ トロント大学
約4ヶ月の間、英語学習プログラムに参加しました。

外国語学部

英語圏や中国語圏での語学研修や3ヶ月～約1年間の留学、英語圏での日本語教育インターンシップやアジア圏での観光実習など、多彩なプログラムを実施しています。

オーストラリア ディーキン大学



約1年間、レベルに合わせて総合的に英語を学びました。会話やエッセイライティングの他、IELTSテストの準備クラスなども受講しました。

中国 北京第二外国語学院



約5ヶ月間と約1年間の留学プログラムがあります。参加学生は、留学生宿舎に滞在し、世界各国の留学生と生活や勉学を共にしました。

保護者会による海外留学支援

保護者会からご支援を賜り、多くの学生が海外で学んでいます。皆様のご支援に御礼申し上げます。

	2018年度
外国語学部 杏会奨励金	47名
総合政策学部 杏会奨励金	8名

杏林大学医学部付属病院

世界最高性能新型3T MRI装置を導入



2018年7月、外来棟地下1階放射線科に新型3T MRI装置「Vantage Galan 3T ZGO」を日本国内で最初(世界では2番目)に導入しました。世界最高のパフォーマンスを実現するハードウェア(Ultra Gradientシステム)を搭載しており、従来(最大傾斜磁場強度45mT/m)の約2.2倍の100mT/mの出力が実現されています。これまで以上に高精細な画像が得られ、微細な血管などの構造を詳細に把握することが可能になりました。

第3回医療連携フォーラムを開催



近隣医療機関等との連携をより一層深めるため、2016年から医療連携フォーラムを開催しています。2018年度は、11月14日(水)に当院大学院講堂(第2病棟)で開催されました。近隣の医師および当院の医師等、計170名以上が参加しました。フォーラムでは、院内見学ツアーや2名の新任教授による講演、野村病院の野村幸史理事長による講演などが行われました。その後、外来棟6階ガーデンパレス日比谷松本楼で行われた懇談会では、参加者による意見交換が活発に行われました。

婦人科病棟が第2病棟4階に移転リニューアル



より快適な診療・入院環境を患者さんへ提供するため、2018年12月に第1病棟4階から第2病棟4階に移転しました。新病棟は、4人部屋や個室の計23床となり、温かみのあるローズピンクとベージュ色を基調にし、各病室に明るい日差しが差し込む設計です。

2019年度 診療部門の組織改編

- 消化器・一般外科
診療体制を充実させるため、上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科の3診療科体制となりました。
- 放射線科
診断部門と治療部門を分化し、放射線科、放射線治療科となりました。

杏林大学医学部付属病院データ

- 認可病床数：1,153床
- 外来患者数：1日平均 2,177人(2018年度統計)
- 入院患者数： " 809人(2018年度統計)
- 医師：623人
- 研修医：122人
- 看護師：1,366人(准看護師含)(いずれも2019年4月)

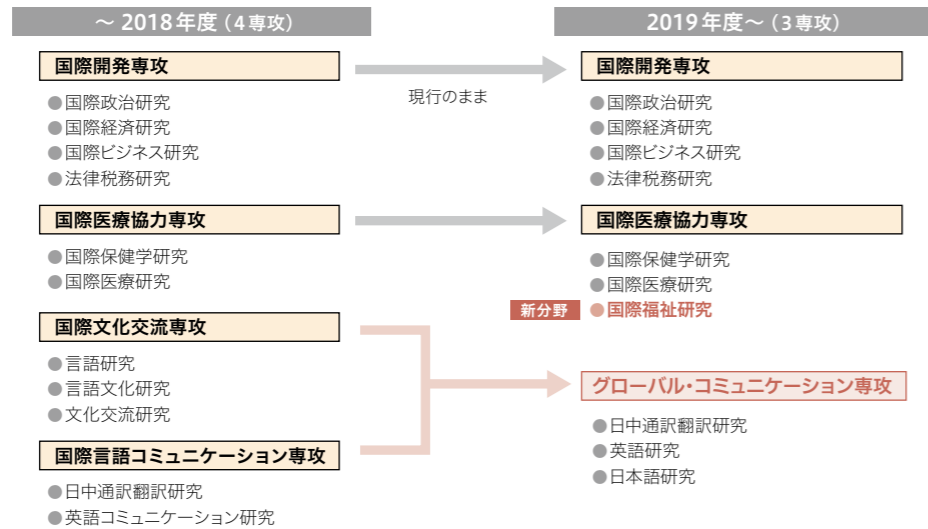
国際協力研究科(大学院)

大学院国際協力研究科博士前期課程では、2019年4月に国際文化交流専攻と国際言語コミュニケーション専攻を統合し、グローバル・コミュニケーション専攻を設置しました。

本専攻では、国際社会の変化や日本国内で進む多文化共生社会にあって、互いの文化・言語・社会に対する理解の欠如等に起因する諸問題を解決できる人材の育成を目指します。

本専攻は、日中通訳翻訳研究、英語研究、日本語研究の3コースからなります。理論や実践を通して、複眼的視座に根ざした深い知見と洞察力を養い、国内外で異文化間コミュニケーション分野の先導的な役割を担う専門家や研究者、および高度専門職業人として活躍できる人材を育成します。

[博士前期課程の改組]



新体育館 2021年4月オープンへ



[完成予想図]

杏林大学は教育環境の整備のため、2017年に三鷹キャンパスの高度救命救急センターから道路を一つ隔てた北側に新校地を取得しました。新校地には体育館と医学部棟が順に建設されます。まず2019年10月に体育館の工事が始まります。

体育館の延べ床面積は5,572㎡、地上3階建てで、1階はバスケットボールコート2面のアリーナ、2階には柔道場、剣道場、スポーツジムなどが配置されます。3階は観覧席で、式典時には3階に備え付けられた収納型の座席と1階座席をあわせて約3,000人の収容が可能となります。工事期間は16ヵ月で、2021年2月に体育館は完成し、4月から使用開始となります。



所在地：三鷹市新川6-38
 施設概要：敷地面積 13,452㎡
 延べ床面積 5,572㎡、地上3階建
 機能：1階メインアリーナ(バスケットボールコート2面)
 2階柔道場、剣道場、スポーツジムなど
 3階観覧席。
 席数は1階座席とあわせ最大約3,000人収容可能

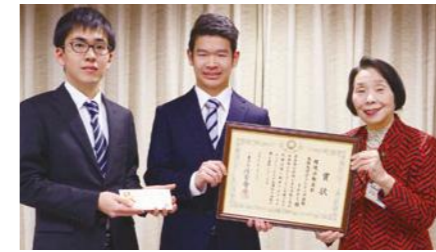
学生・教職員による地域貢献活動

総合政策学部生が
国連「持続可能な開発目標(SDGs)」の啓発活動



国際連合では、加盟国が2030年までに達成することを目標に、環境保護や飢餓ゼロなど17の行動計画(SDGs)を掲げています。総合政策学部 川村真理教授のゼミ生達は、その啓発活動として、自分達で撮影した写真の展示を2018年11月から12月にかけて井の頭キャンパスで実施しました。

学生ボランティア団体feelが
三鷹市環境活動表彰



三鷹市では、優れた環境創りのために、先導的な活動を行う市民や団体等を表彰しています。2018年度は、清掃活動や地域活動を積極的に行う本学の学生ボランティア団体「Feel」が表彰されました。

保健学部理学療法学科生
小学校でポッチャ体験会を実施



一場友実准教授と学生達は、ポッチャの普及活動に取り組んでいます。2019年1月には、学生8名と共に、府中市立住吉小学校で1年から3年の児童計300名にポッチャを指導しました。



アトレイ三鷹と中国語学科ゼミが
協働企画を実施

本学は株式会社アトレと2016年に連携事業締結を交わし、三鷹駅にある商業施設アトレイ三鷹と様々な協働事業を行っています。

2019年1月から2月には、外国語学部中国語学科宮首弘子教授ゼミの学生達が、中国人観光客へのお勧め商品を中国語で紹介するポスターを制作しました。



杏林 CCRC フォーラムを
地域交流課が開催

2018年度の地域研究・貢献活動の報告会を三鷹市長、羽村市長を招き、2019年2月に開催しました。

本学の取組みを教員や学生が報告し、参加者間で意見交換を行いました。また、三鷹市内の国際基督教大学とルーテル学院大学の教員を交えてパネルディスカッションが実施されました。

2019年度 杏林大学公開講演会 前期のご案内

杏林大学では本学の特色を活かして、市民の皆様に向けた医療系・人文社会科学系の公開講演会を開催しています。皆様のご参加をお待ちしています。

[参加費不要、申込み不要、先着順] ※一部を除く

日程	時間	所属	氏名等	講演タイトル	開催場所	定員
5月	11(土)	杏林大学	金田一秀穂 特任教授	言葉のはたらき	井の頭キャンパス	240名
	18(土)	医学部	多武保 光宏 講師、金城 真実 学内講師、山梨大学 谷口 珠実 准教授	「杏林医学会主催」中高年の排尿トラブル	杏林大学医学部付属病院	240名
	25(土)	医学部	神崎 恒一 教授	認知症のことを知ろう	井の頭キャンパス	240名
6月	5(水)	萌木の村(株)	代表取締役 船木 上次氏	衰退観光地からの脱却：観光カリスマが語る人づくり、魅力づくりからまちづくりへ	井の頭キャンパス	80名
	8(土)	保健学部	一場 友実准教授	高齢者も楽しめるポッチャーパラリンピック公式競技*	井の頭キャンパス	50名
	22(土)	医学部	細金 直文准教授	高齢者の腰痛 一坐骨神経痛、腰曲がり	杏林大学医学部付属病院	240名
7月	26(水)	1.NPO法人 小さな村総合研究所 小村 幸司 2.NPO法人 街のコンサルジュ 青木 弘道		1. 東京の水源地・丹波山村で今起きているコト 2. 温もりのある街をつくる	井の頭キャンパス	80名
	6(土)	医学部	阿部 展次 教授、阪本 良弘 教授、須並 英二 教授	「日本消化器外科学会主催」がんから身を守るために*	杏林大学医学部付属病院	200名
	13(土)	井の頭事務部、キャリアサポートセンター	米津 哲也 副部長	人生100年時代のキャリアを考える	井の頭キャンパス	60名
8月	20(土)	外国語学部	関 美和 准教授	翻訳者が教える英語攻略法 —あなたは本当に英語が読めていますか?*	三鷹ネットワーク大学	100名
	31(土)	総合政策学部	松田 和見 教授	龍馬の夢を挫いた男 一勝海舟に届いた手紙*	羽村市生涯学習センター ゆとろぎ	100名
9月	21(土)	総合政策学部	鳥村 直幸 講師	米中貿易戦争から「新しい冷戦」へ?	井の頭キャンパス	240名
	28(土)	医学部	大浦 紀彦 教授	最新の褥瘡予防と治療 床ずれ：褥瘡を在宅で作らないために	杏林大学医学部付属病院	240名

※6/8は、要事前申込み【問合せ・申込み先】杏林大学 広報・企画調査室 FAX: 0422-44-0892 E-Mail: koho@ks.kyorin-u.ac.jp

※7/6は、要事前申込み 詳細は大学ホームページをご覧ください。 ※7/20は、要事前申込み【問合せ・申込み先】三鷹ネットワーク大学 TEL: 0422-40-0313

※8/31は、要事前申込み【問合せ・申込み先】羽村市生涯学習センター TEL: 042-570-0707

●アクセス：井の頭キャンパス、三鷹キャンパス▶JR 三鷹駅または吉祥寺駅、京王線仙川駅または調布駅からバス約15分～20分 三鷹ネットワーク大学▶三鷹駅前協同ビル3階 羽村市生涯学習センター▶JR 青梅線 羽村駅東口 徒歩8分

広報・企画調査室 TEL: 0422-44-0611 詳細は大学ホームページをご覧ください。



建学の精神 真善美の探究

優れた人格を持ち、
人のために尽くすことのできる人材を育成する

あんず Anzu 2019 | 春 |

学校法人 杏林学園

2019年5月15日発行

発行 学校法人 杏林学園

企画・編集 杏林大学 広報・企画調査室

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

TEL.0422-44-0611